



2022年
7月7日
七夕

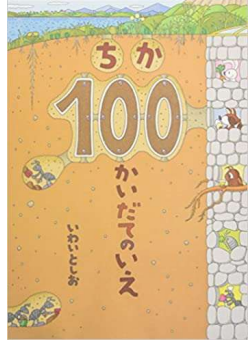
池坊短期大学図書館だより



第10号
蓮(ピンク)
花言葉 信頼

私の好きな絵本 学生による紹介 第2弾!

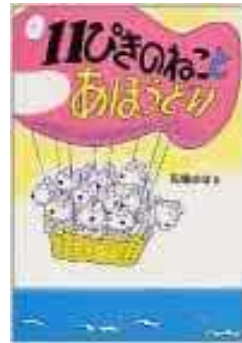
『ちか 100 かいたてのいえ』



偕成社
著： いわい としお

お風呂が好きなクウちゃんが地下100階のパーティーに誘われて地下100階に行くお話です。ふつうの絵本と違い縦向きに読む絵本なので新鮮で他の人と一緒に読めばさらにおもしろく読めそうだと思います。絵も縦長で紙いっぱいに描いてあるので、絵を細かく細部まで見ると文字を読まなくても絵だけ見ていてもおもしろく、年齢関係なく楽しく読めるのがオススメポイントです。ぜひ読んでみてください。
(濱谷しずく)

『11ぴきのねことあほうどり』



こぐま社
著： 馬場のぼる

11ぴきのねこは、毎日コロッケを作り売っていました。最初は大繁盛でしたが、次第にコロッケが売れ残りねこたちは毎晩食べ飽きてしまいました。そこで、鶏の丸焼きが食べたくなった時にあほうどりと出会いました。あほうどりと出会った後の展開が面白く、絵だけじゃなく本文も面白いです。オススメの所は、あほうどりの兄弟と会う11ぴきのねこたちの反応が面白く、文の文字の大きさなども見どころです。
(小山希垂来)

『でこちゃん』



PHP 研究所
著： つちだ のぶこ

この本の中にある「でこちゃん」が休みの日にお母さんに髪の毛を切ってもらおうと前髪を切られすぎてしまいおでこが出ているのでみんなに「でこちゃん」として笑われてしまいます。大好きな買い物も行きたくなって「でこちゃん」はおでこが嫌いになっていました。幼稚園にも行きたくないでこちゃんがおでこが好きになるようにおにいちゃんが考えるがダメ、次はお姉ちゃんが考えると成功です。その内容は見てからの楽しみに!!
(吉田麻人)



『シンデレラ』(斎藤萌香)

奇想天外な発想や人間味あふれる愉快的動物たち、こどもの日常にありがちなお話にやさしい気持ちで寄り添った絵本・・・どれも読んでみたくなる絵本ばかりですね♡
本の紹介文やイラストは、引き続き募集しています!

日本の伝統文化発信⑥ ～ちょっと教養のコーナー～



今年は3年ぶりに京都の夏を代表する「祇園祭」が実施されることになりました。池坊短期大学で所蔵する書物の中から今回は、『祇園祭 山鉾絵図』をご紹介します。この絵図の中で池坊短期大学はどの辺りにあるか見当がつかますか?



『祇園祭 山鉾絵図』

(京都名所行事絵図刊行会編)

(抜粋)

本書は、1985年に刊行されたもので、祇園祭山鉾町鳥観図一葉と祇園祭山鉾図三十一葉の図と文章編の冊子一冊からなる豪華本です。限定717部出版されました。

絵は、西脇友一氏による超細密描写で、およそ10年の製作期間をかけて昭和60年(1985)に完成した大作です。西脇氏はグラフィックデザイナーで、関西デザイン界を牽引し、大阪芸術大学教授であった人物です。本書のほか『葵祭行装絵図』と『時代祭行列絵図』があり、『祇園祭山鉾絵図』とあわせ氏の画業を代表する三部作となっています。

各山鉾の絵は前後左右の四方向から描き、原画は、京都工芸繊維大学設計計画研究室の「祇園祭一山鉾実測」に基づき作画制作されました。山鉾を飾る懸装品(けそうひん)は、昭和55年から59年までの5年間のものを作画の基準として、当時の記録としても重要なものです。(松本公一)

図書館からのお知らせ

『祇園祭 山鉾絵図』は只今図書館内で展示中です。ぜひこの機会に実物全体をご覧ください。

図書の検索は便利なQRコードも利用できます。

<http://www.lib-eye.net/ikenobo-c/>

